熊本市議会「高校生議会」

第3回 開催日：令和7年8月1日（金）

令和7年度「 高校生議会 」 概要

実施目的

・高校生への主権者教育の一環として、議会での審議プロセスを体験することで、議会や議員に対する理解を深め、政治への関心の向上を図る。

・委員会における意見交換や自らの考えを発表する機会を設けることで、高校生が市政課題への認識や理解を深めるとともに、課題解決に向けた提案を行う。

実施日時・場所

日　時：令和７年８月１日(金)
　　９：３０～１５：３０

【オリエンテーション、事前勉強会】
令和７年７月２２日(火)
１３：３０～１５：３０

場　所：熊本市議会 議会棟（本会議場及び委員会室）

参加者

高校生：熊本市内の高等学校(市立:2校、県立2校、私立4校)の生徒会から29名

市議会：議長及び議員　７名
・市議会議長
・協議テーマを付託する３委員会の正副委員長

※その他の議員、高校生、教職員、市職員及び市民も本会議場・委員会室において傍聴可能

高校生議会の流れ

本会議

＜午前＞
① 市議会議長 挨拶
② 高校生議会 開会
③ 高校生議長 選出
④ 委員会設置、委員選任、協議テーマ委員会付託

＜午後＞
① 高校生議会 再開
② 委員長報告、採決
③ 市議会議長 講評
④ 高校生議長 挨拶
⑤ 高校生議会 閉会

付 託 ↓　　↑ 報 告

委員会

＜午前＞
① 進行説明
② 自己紹介
③ 協議(意見交換)

→

＜午後＞
① 協議結果とりまとめ
② 委員長報告 確認
③ 採決

【各委員会に付託する協議テーマ】
高校生が考える
・「熊本の魅力発信(総務)」
・「地域活動・ボランティア活動(教育市民)」
・「公共交通・自転車交通(都市整備)」

【その他】
・市選挙管理委員会による選挙に関する講義
・高校生と市議会議員のランチタイムトーク　　等

① オリエンテーション 7月22日(火) 13:30～

・参加する高校生に対し、議会局職員から、スケジュールや会議進行上の注意点やその他の事務連絡等を説明

議会局からの説明

予行練習

① 事前勉強会　7月22日(火) 14:30～

・当日協議するテーマについて、各委員会に分かれて、担当課から事業内容や課題などについて説明を受けた

＜協議テーマ＞　①高校生が考える「熊本の魅力発信」（総務委員会）

②高校生が考える「地域活動・ボランティア活動」（教育市民委員会）

③高校生が考える「公共交通・自転車交通」（都市整備委員会）

＜総務委員会＞
「熊本の魅力発信」
説明：広報課

＜教育市民委員会＞
「地域活動・ボランティア活動」
説明：地域政策課

＜都市整備委員会＞
「公共交通・自転車交通」
説明：公共交通推進課、
地域交通支援課、交通企画課

② 本会議（10:00～）

・10時に本会議を開会し、まず、市議会議長より主催者を代表して挨拶

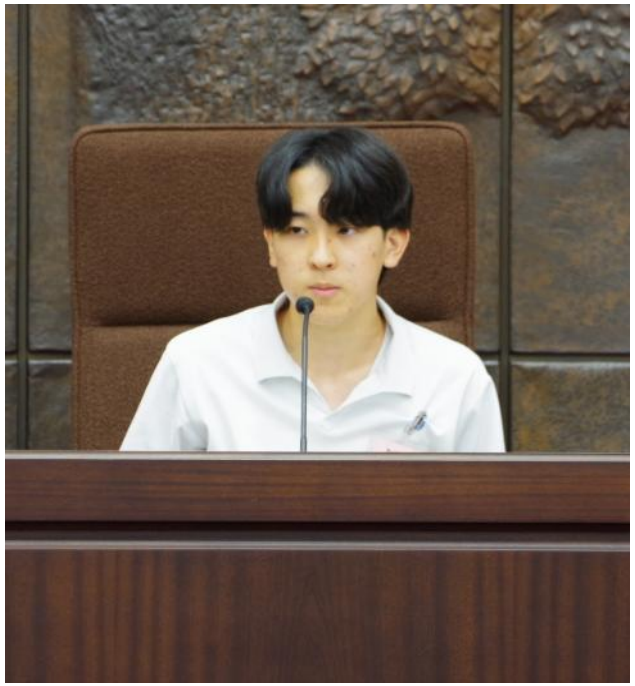
・市議会議長が臨時議長となり、高校生議会の開会宣言の後、市議会議長の指名推選により、高校生議長が選出された。

・市議会議長から高校生議長に進行を交代し、委員会の設置（総務、教育市民、都市整備）、委員長及び委員の選任、協議テーマの委員会付託を行った。

・なお、協議テーマについては、総務委員会には「高校生が考える熊本の魅力発信」、教育市民委員会には「高校生が考える地域活動・ボランティア活動」、都市整備委員会には「高校生が考える公共交通・自転車交通」がそれぞれ付託された。

大石浩文 市議会議長　挨拶

高校生議長　就任挨拶



高校生議長による進行

③ 委員会(10:20～、13:30～)

・委員会には、市議会議員各2名(本市議会の総務委員会、教育市民委員会、都市整備委員会の正副委員長)がファシリテーター役として参加

・各高校生委員長の進行のもと、午前中には、自己紹介、市議会議員からの進行説明の後、付託された協議テーマについて、「高校生にできること」及び「行政への提言」の2つの視点を中心に意見交換が行われ、午後にはそこで出た意見のとりまとめ、高校生委員による採決が行われた。

総務委員会　　教育市民委員会　　都市整備委員会

④　選挙に関する講義(12:30～)

・参加した高校生に対し、選挙管理委員会事務局職員より『 行こう選挙！変えよう未来！！ 』と題して「18歳から選挙ができること」、「選挙制度について」、「投票の方法」など、選挙の重要性や課題等について講義を行った。

各協議テーマにおける意見の取りまとめ

	協議視点①：“高校生にできること”などの視点に立った意見	協議視点②：“行政への提言”などの視点に立った意見
【 協議テーマ 】 **高校生が考える熊本の魅力発信** （総務委員会）	・高校生が知っている熊本の穴場スポットや映(ば)える場所、特産品　などを発信する。また、発信方法としては、若者向けにはSNS、高齢者向けには、テレビ・ラジオなど、世代に応じた発信方法を高校生が提案・実践する。 ・地元企業と協力して、高校生が関わるふるさと納税のオリジナル返礼品の企画・パッケージデザインの制作などを行い、付加価値のある商品を創出する。 ・英語対応の観光マップや案内資料を高校生が作成し、外国人観光客にも安心感を提供したい。	・市電や観光バスに、熊本の魅力やひごまるなどの地域キャラクターと連携したラッピング等をすることで、観光客や地元住民に目に触れるような形で効果的に広報活動を展開していただきたい。 ・観光名所を効率よく回れる公共交通機関の整備していただきたい。 ・熊本市ならではのイベントを開催し、地域資源の魅力を広く発信していただきたい。
【 協議テーマ 】 **高校生が考える地域活動・ボランティア活動** （教育市民委員会）	・自分の興味があるものなど、心理的にハードルの低い活動から参加し、ボランティアの意義への理解を深めていく。 ・各学校の生徒会・ボランティア部などと各自治会長とで話し合う機会を設ける。 ・ボランティア関連の広報手段として、SNSを活用し、自分たちに身近に感じられる広報を行う。	・若い世代の方々がボランティアに参加しやすいよう、有給休暇をとりやすい環境をつくる。 ・自治会活動が継続できるよう、外部に任せられるものは外部に割り振れるような体制をつくる。 ・くまもとアプリのSNSの公式アカウントを開設する、学校での活動に組み込むなど、の手法で広報を行う。
【 協議テーマ 】 **高校生が考える公共交通・自転車交通** （都市整備委員会）	・自転車交通について、各学校で危険な場所に関するハザードマップを作成し、共有することで事故防止に努めたい。 ・タブレット等で交通ルールに関するクイズができ、自主的に学べる環境を整備してもらいたい。 ・自転車ヘルメットの着用率をより高める必要がある。	・バス停における液晶モニターの設置・拡充など公共交通機関の利便性向上に向けた取組に加え、AIを活用した渋滞の回避・軽減を可能とする仕組みなど検討してもらいたい。 ・路側帯の拡幅など、自転車が安全に走行できるような道路の整備に努めてもらいたい。 ・都市高速道路の整備検討とあわせ、モノレールや次世代型のロープウェーなど新たな公共交通機関の導入、交通量の減少に向けたメタバースの活用など、中長期的な取組についても前向きに検討してもらいたい。

⑤ 本会議(14:50～)

・本会議を再開し、各委員会の委員長より協議テーマにおける意見のとりまとめについての報告が行われ、高校生議員全員で採決した結果、全会一致で可決された。

・その後、市議会議長より講評、高校生議長から閉会の挨拶があり、高校生議会を閉会

総務委員長　委員長報告

教育市民委員長　委員長報告

都市整備委員長　委員長報告

意見のとりまとめ　採決

市議会議長　講評

高校生議長　閉会挨拶

⑥ 記念写真撮影(15:20～)

・高校生議会の全日程終了後、本会議場において、参加者および市議会議員との記念写真の撮影を行った。

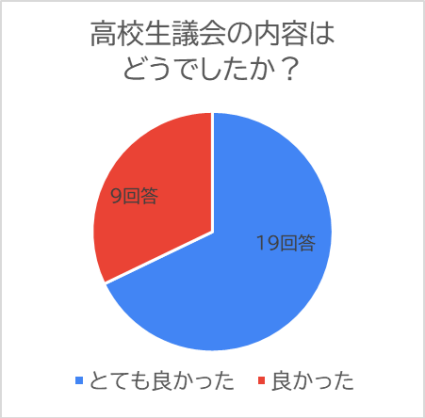
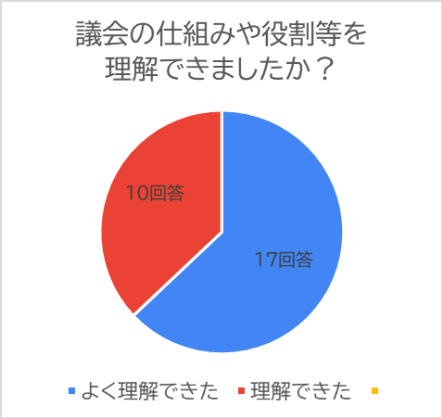
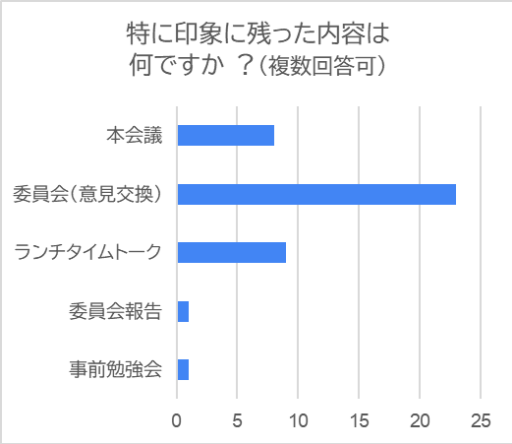
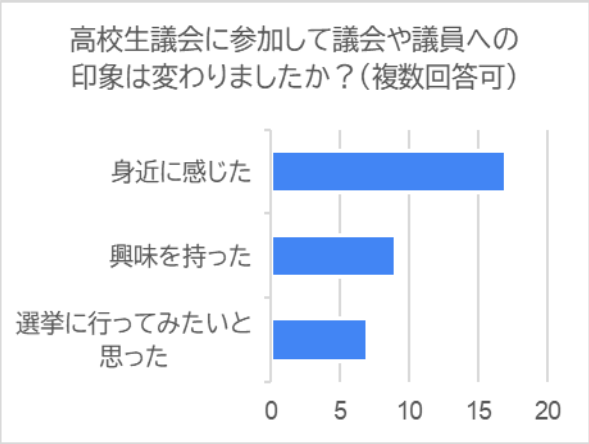
「高校生議会を終えて」アンケート結果（抜粋）

●今回、高校生議会に参加した理由は？

・市に意見を伝えられる貴重な経験になると思ったから。
・熊本をつくる活動に積極的に参加したいため。

●高校生議会に参加して感じたことは？

・自分の意見を多くの人の伝えることができ、人のアイデアを聞くことで新しい視点が増えた。
・熊本のために考えるということが有意義だった。
・市議会を知り、より政治への興味や関心が高まった。
・自分の意見で議論が展開していくことが楽しかった。

●高校生議会について意見や要望は？

・議会を体感し、意見を言える素晴らしい機会。これからも続けてほしい。
・もっとたくさんの人に経験してほしい。日数や回数を増やせないか。